

実施計画事業名		放課後健全育成事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		教育部 こども課		課長(主幹)名	渡邊 祐子				
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉						
	政策	2	子どもたちの健全な成長を支援します						
	施策	3	総合的な子育て支援体制の整備を促進します						
	関連施策								
現状と課題	現在、児童館4、学童保育所を4ヶ所開設しているほかプレーパークや放課後子ども教室等、地域と連携を図りながら放課後の子どもの居場所づくりを進めている。特に児童館は、児童館まつりや子ども通貨タラ事業などにより、多くの児童に利用されている。社会教育センター内に南地区プレーパークと緑学童保育所を開設しているが、施設の狭隘と老朽化が目立っており、児童館未設置地区でもあることから、施設の見直しが必要である。								
目的	放課後等に、子ども達に安全で自由に遊べる空間(学童保育所は加えて生活の場)を与え、健全な育成を図るとともにその保護者を支援する。								
5ヶ年展開の	①児童館・プレーパーク…児童館については、現在4施設中、2施設は指定管理により運営を行っており、今後は直営の2施設についても指定管理者制度の導入について検討する。施設の老朽化等から南地区の放課後児童対策について見直しが必要。②学童保育所…特別支援を要する児童の受入などを進めていく。待機児童が生じないよう定員については十分な配慮を行っていく。③放課後子ども教室…現在1ヶ所のみでの開設であるが、学童保育所未設置地区について、新規実施に向けて検討する。								
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	児童館等を利用した1日あたり平均利用者数		人		目標	185	180	170	
説明	全児童館、児童会館、南地区プレーパーク、放課後子ども教室の1日あたりの平均利用者数(各利用者数を各開設日数で除したものの)の合計				実績	188	163		
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	児童館利用者数		人		目標	45,000	43,000	40,000	
	説明	全児童館(富岡、東、港、中央)の年間利用者延べ人数				実績	43,601	41,204	
	南地区プレーパーク利用者数		人		目標	8,200	7,900	7,200	
	説明					実績	8,003	7,659	
	放課後子ども教室利用者数		人		目標	3,500	3,000	2,800	
	説明	年間利用者延べ人数				実績	3,613	2,841	
学童保育所入所児童数		人		目標	165	165	165		
説明	全児童館(富岡、東、中央)の入所児童数				実績	199	192		
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)	千円	50,740	46,984	49,704				
	国庫支出金	千円	0	0					
	道支出金	千円	9,159	9,026	9,857				
	起債	千円	0	0					
	その他	千円	9,734	10,086	11,061				
	一般財源	千円	31,847	27,872	28,786				
	この事業にかかる職員数	人/年	0.78	0.66	0.66				
人件費(B)	千円	5,402	4,482	4,482					
計(A+B)	千円	56,142	51,466	54,186					
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	直営施設については、地域の特性を活かせるよう指定管理者制度の導入を引き続き検討する。 すでに指定管理制度を導入済みの施設については、独自事業の実施など利用促進が図られるよう支援が必要である。
コスト効率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	B 見直しの検討が必要 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 放課後健全育成事業は、放課後の安全で快適な居場所の確保と、異年齢との交流、遊びを通じて社会性、規範意識を形成するという役割を担っており、今後も指導員、厚生員の研修機会を確保し、質の向上を図る。 また、子育て経験者やボランティア団体など地域との連携をさらに強化し、児童館・学童保育所の利用促進とサービスの向上に努める。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総合評価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--